

Week of January 22 - He Reigns

Small Group Lesson 13

知り合う

「意志あるところに道は開かれる」という有名な言葉を聞いたことがあるかもしれません。この言葉にはどのような真理があり、真理でないのはどのような点でしょうか、そしてそれは、なぜなのでしょうか。

聖句 - ヤコブの手紙 4:13-17 (聖書協会共同訳)

13 さて、「今日か明日、これこれの町へ行って一年滞在し、商売をして一儲けしよう」と言う人たち、14 あなたがたは明日のことも、自分の命がどうなるかも知らないのです。あなたがたは、つかの間現れ、やがては消えてゆく霧にすぎません。15 むしろ、あなたがたは、「主の御心であれば、生きて、あのことやこのことをしよう」と言うべきです。16 ところが実際は、見栄を張り誇っています。そのような誇りはすべて悪です。17 だから、なすべき善を知りながら行わないなら、それはその人の罪です。(聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会 Japan Bible Society, Tokyo 2018)

学び

1. ヤコブが手紙で示した例は、どのような点で「実践的無神論者」、つまり神様を知っていながらそうでない行動をとる人の例なのでしょうか？(箴言16:3; 詩篇20:4)

2. なぜ、これは適切な計画の例ではなく、むしろ神を「方程式」から除外した例なのでしょうか？祈りはどのようにこの構図の中に位置づけられるのでしょうか？(箴言16:9；箴言15:22；箴言19:21)

3. なぜ誇りを持つことは悪いことなのでしょうか？信者である私たちは、どのようなことを誇るようにと命じられていますか？(1コリント1:31) なぜ、このように誇ることは承認されるのでしょうか？それはどのような響きですか？

☕ **ディスカッション:** 明日がどうなるか、人生がどうなるかは分からないということを念頭に置きながら、私たちはどのようなモチベーションで生き続ければよいのでしょうか。(マタイ6:33、ピリピ1:19-26-パウロの動機はどのようなものだったのでしょうか?)

🏃 **適応:** どうすれば、神をほめたたえる生き方ができるでしょうか？(15節) 例えば、イエス・キリストにある神の御心を知り、救われ、良い知らせを知ることによって、今日のあなたの計画はどうすればより良く形成されるでしょうか？

分かち合い

私たちは、信頼と一貫性を保つために物事を行う自分の頑さと、神の主権に信頼をおくことのバランスをどのように取ればよいのでしょうか？(参照：ルカ11:9-10、ルカ18:1、ルカ22:42、マタイ6:10)

成長

神への感謝や賛美、具体的な祈りの課題を集め、互いに祈り合いましょう。

- 主がご自分の計画と意志を明らかにしてくださるように祈りましょう。
- 今日、あなたがどのように神を讃えることができるかを祈りましょう